

令和6年度 前期学校評価報告書

鬼北町立近永小学校

【評定の評価基準】 A：80%以上達成 B：70%以上達成 C：60%以上達成 D：50%以上達成 E：50%未満

【アンケート結果】 4：できている 3：おおむねできた 2：あまりできていない 1：ほとんどできていない

※集計により100%に満たない場合がある。

項目	評価指標	評価	考察(◇)と改善方策(◆)	評価資料	評定	肯定率(4+3)	4	3	2	1
人間力	①学校は、笑顔で元気に挨拶ができる児童の育成に努力している。	A	◇児童会を中心に挨拶運動に取り組み、個人差はあるが成果は表れている。 ◇通学班長が挨拶できる班は、全体的によくできる傾向がある。 ◇来校者への挨拶は、継続した指導が必要である。来校者からは、挨拶がよくできると言われることが増えてきている。 ◇児童同士の挨拶はあまりできていない。 ◆笑顔で挨拶の輪を広げることを意識して、称賛したり声掛けをしたりするなどを繰り返し指導するとともに、登下校の指導を含め、具体的に根気強く、教師から模範を示していく。また、児童同士の挨拶についても奨励していく。	保護者	B	76.6%	20.2%	56.5%	20.2%	3.2%
				地域住民	A	100.0%	52.6%	47.4%	0.0%	0.0%
				教職員	A	93.3%	20.0%	73.3%	6.7%	0.0%
				児童	A	90.7%	54.4%	36.3%	7.1%	2.2%
	②子どもたちは、話を聞くときには、相手を見てしっかり聞くことができている。	B	◇聞く姿勢をきちんとさせる必要がある。 ◇手遊びや姿勢が崩れやすい児童がととも多い。授業を止め、全体に姿勢を直すよう声を掛ける必要がある。 ◇長時間は集中力が続かないので、話のポイントを示し短く話す必要がある。 ◆毎日、聞く姿勢について指導を続ける。また、教師側も話すポイントを絞って、聞かせる声の調子、間の取り方、強弱を大切に。必要に応じて資料を提示しながら話すように心掛ける。	保護者	A	86.2%	21.1%	65.0%	10.6%	3.3%
				地域住民						
				教職員	C	60.0%	0.0%	60.0%	40.0%	0.0%
				児童	A	94.5%	65.4%	29.1%	4.4%	1.1%
	③子どもたちは、相手を思いやりながら、協力し合って学校生活を送っている。	A	◇特別支援学級への優しい声掛け・手伝いを進んでできる児童が多い。(児童会の児童や高学年の児童) ◇おおむね優しい児童が多い。自分の言動を相手は嫌がっている、困っていると気付けない児童もいる。見えない相手の気持ちを想像する力を付けたい。 ◆教育活動全般を通して、互いを思いやる気持ちを育て、人権意識の高揚を図る。また、仲間意識や自己有用感を高められるよう、全校活動、学級活動を工夫する。	保護者	A	91.7%	28.9%	62.8%	7.4%	0.8%
				地域住民	A	100.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
				教職員	A	86.7%	13.3%	73.3%	13.3%	0.0%
				児童	A	96.2%	73.1%	23.1%	3.3%	0.5%
	④児童、教職員で協働して清掃活動に努め、校内・校舎の周りの環境は気持ちよく整備されている。 ※児童の問い「そうじのさしすせそを守って掃除をしていますか。」	A	◇頑張っている児童が多い。がんばり賞は8割以上。 ◇掃除道具を決まった場所にきちんと片付ける指導が必要。 ◇昨年に比して、取りかかりが遅く話し声も聞こえる。早く取りかかり無言で作業ができるようにしたい。 ◆教員の指示がなくても、ときばき動けて、自分で汚れに気付いてきれいにする児童を増やすような指導を工夫する。併せて、後片付けについての指導もしていく。掃除の「さしすせそ」を徹底させる。	保護者	A	97.5%	50.0%	47.5%	2.5%	0.0%
				地域住民	A	100.0%	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%
				教職員	A	93.3%	46.7%	46.7%	6.7%	0.0%
				児童	A	91.8%	70.9%	20.9%	4.9%	3.3%

学 力	基礎・基本を身に付け、意欲的に学ぶ児童	⑨子どもたちは、進んで読書をしている。	C	◇保護者の結果から、家庭では読書をしていないことが推測される。また、読書をする子としない子の差もはっきりしてきている。 ◇音読の宿題も読書である。何をどう音読させるか工夫すれば読解力につながる。 ◇本屋へ行こうプロジェクト、読書ビンゴ、とても有効的だった。 ◇本に触れる機会は確保した。学年相応の本を選べていない子が多い。 ◆教師や児童からおすすめの本を提示し、本に慣れ親しむ環境づくりを行う。また、朝読書の時間も確実に確保する。 ◆引き続き、家庭での読書を奨励する。 ◆本屋へ行こうプロジェクトで購入した図書を有効活用する。	保護者	D	52.8%	15.2%	37.6%	32.0%	15.2%
		地域住民									
		教職員	B	75.0%	16.7%	58.3%	25.0%	0.0%			
		児童	B	77.5%	48.4%	29.1%	16.5%	6.0%			
		⑩子どもたちは、授業中や集会活動で、自分の意見を進んで発表している。 ※保護者の問い「お子さんは、自分の考えや思いを家庭で伝えることができている。」	C	◇集会の際に感想発表の時間を確保した。低学年は意欲的に発表していた。まだまだ、課題は残る。 ◇今後、授業や集会活動等において積極的に意見交流の場を設定していくことで改善していくことが可能である。 ◆授業中に声に出しての意見交流の場を工夫するとともに、学年に応じて児童の発表意欲を高める方法を工夫する。 ◆集会活動の際には、学年に応じて集会の意義を説明し、感想や意見を交流ができるように事前指導をするように努める。	保護者	A	82.4%	32.8%	49.6%	14.4%	3.2%
		地域住民									
		教職員	D	57.1%	0.0%	57.1%	42.9%	0.0%			
		児童	C	68.7%	38.5%	30.2%	20.3%	11.0%			
		⑪子どもの家庭学習の習慣が身に付いている。(学年×10分+α) *は忘れ物に関する問い	B	◇家庭学習の習慣には、個人差がある。家庭学習の習慣が身に付くよう、根気強く児童へ繰り返し指導するとともに、家庭への協力を呼び掛ける必要がある。 ◇宿題については真面目に取り組む児童が多い。 ◆家庭学習の大切さや成果を説明し、児童の意欲を高めるとともに、家庭の協力・確認によって確実に学習習慣が身に付くようにする。 ◆1人1台端末を活用した家庭学習の在り方についても検討していく。	保護者	C	65.0%	13.0%	52.0%	29.3%	5.7%
		地域住民									
		教職員	A	90.9%	9.1%	81.8%	9.1%	0.0%			
		児童	A	95.6%	80.2%	15.4%	3.3%	1.1%			
*保護者	A	87.2%	31.2%	56.0%	12.0%	0.8%					
*児童	A	89.0%	48.4%	40.7%	11.0%	0.0%					
⑫ ICTを活用した授業改善に取り組むとともに、楽しく分かる授業の実践に努力している。 ※保護者の問い「お子さんは、授業は分かりやすいと言っている。」	A	◇1人1台端末を使っでの授業が、定着してきた。授業での活用について、教職員の研修意欲も高く、情報交換を行いつつ実践に生かしている。 ◇児童のパソコン操作の個人差が、少しずつ解消されてきている。 ◇教員のICT活用スキルが上達している。 ◆端末を上手く活用し、学力向上につながるよう授業改善に取り組み、個々の児童の基礎・基本の定着及び伸長を図るとともに主体的で対話的な学びを深められるように工夫する。	保護者	A	90.2%	28.6%	61.6%	8.0%	1.8%		
地域住民											
教職員	A	92.9%	28.6%	64.3%	7.1%	0.0%					
児童	A	98.4%	90.1%	8.2%	1.6%	0.0%					
⑬子どもたちは、忘れ物や宿題忘れをせず、朝学習や補充学習、自主学習に意欲的に取り組んでいる。 ※保護者の問い「学校は、補充学習や宿題、自主学習など子どもの学力向上に努めている。」 児童の問い「朝学習や補充学習に進んで取り組んでいる。」	B	◇朝学習や補充学習に、児童は真面目な態度で課題に取り組んでいる。学級担任と専科教員が協力して指導することで成果が上がってきている。 ◇家庭と連携し、忘れ物や個別指導が必要な児童への対応を継続して行わなければならない。 ◆真面目に学習に取り組もうとする雰囲気がある。朝学習や補充学習の時間を確実に確保し、児童の学力の向上に努める。 ◆忘れ物、宿題忘れに関しては、家庭との連携を密にし、継続した指導を行う。	保護者	A	95.8%	37.5%	58.3%	2.5%	1.7%		
地域住民											
教職員	C	69.2%	7.7%	61.5%	30.8%	0.0%					
児童	A	88.5%	65.4%	23.1%	7.7%	3.8%					

地域 の 力 を 活 用 し た 学 校 づ く り	⑭子どもは、「朝の 歯磨き・洗顔・朝ご 飯」の習慣が身に付 いている。 *はゲーム時間、就寝時 間に関する問い	B	◇「朝の歯磨き・洗顔・朝ご飯」について、学級で指導するだけでは改善が難しいので、家庭への啓発が必要である。 ◇ゲーム時間や就寝時間は、固定化しつつあり、課題が残る。 ◆PTAで協力して作成した「スマホの約束」を積極的に活用していく。 ◆生活習慣アンケートを実施の結果を通して、家庭への協力を呼び掛ける。	保護者	A	92.0%	49.6%	42.4%	6.4%	1.6%	
				地域住民							
				教職員	A	84.6%	23.1%	61.5%	15.4%	0.0%	
				児童	A	93.4%	79.7%	13.7%	6.6%	0.0%	
				*保護者	C	66.4%	15.2%	51.2%	25.6%	8.0%	
				*児童	A	90.1%	63.2%	26.9%	6.0%	3.8%	
	⑮学校は、安全・安 心な学校づくりに努 めている。	A	◇児童が安心して学校生活を送ることができるよう、生徒指導を中心に、学校内外での生活について意識付けを行い、児童の安全への意識が向上している。 ◇4月に大きな地震があったことで、児童・教師ともに危機感を持って訓練等に対応することができた。 ◇登下校指導を継続し、登下校時の安全管理に努めていく。 ◆危機管理に対する教職員の意識を高め、情報交換と早期対応を適切に行う。 ◆登下校指導を継続し、児童や保護者、地域からの情報を確認するとともに、連携し、安全安心な学校づくりに努める。	保護者	A	98.3%	39.5%	58.8%	1.7%	0.0%	
				地域住民	A	100.0%	63.2%	36.8%	0.0%	0.0%	
				教職員	A	100.0%	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	
				児童	A	95.1%	79.1%	15.9%	4.4%	0.5%	
⑯子どもたちの学習 していることや活動 の様子を、学校・学 級だよりやホーム ページ等で知らせ ている。 ※児童の問い「学校から配 られた文書や通信は、すぐ 家の人に渡し、読んでも らっていますか。」	A	◇ホームページに日々の授業の様子を上げ、児童の活動や学校の様々な情報を発信するよう努めている。 ◇学校だより、学級だよりの定期的な発行に努め、児童の様子を発信している。 ◆ホームページや学校だより、学級だよりで、早めの情報発信に努めるとともに、内容も工夫していく。	保護者	A	98.4%	55.3%	43.1%	1.6%	0.0%		
			地域住民	A	100.0%	73.7%	26.3%	0.0%	0.0%		
			教職員	A	100.0%	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%		
			児童	A	92.9%	69.2%	23.6%	4.9%	2.2%		
⑰学校は、保護者や 地域と連携して教育 活動を行っている。 ※児童の問い「家の人に 学校のことや友達のこと を話していますか。」	A	◇保護者、地域の方の協力により、教育活動がスムーズに行えている。 ◇ウィズコロナを意識して、活動内容や活動内容を工夫する。 ◇今年度5年ぶりにPTA球技大会を行うことができた。 ◆学校の教育活動には家庭・地域の理解や協力が欠かせない。段階的な事前の説明や情報交換、情報発信を丁寧に行い、理解と協力を得られるようにする。	保護者	A	98.3%	50.8%	47.5%	1.7%	0.0%		
			地域住民	A	94.4%	44.4%	50.0%	0.0%	5.6%		
			教職員	A	100.0%	28.6%	71.4%	0.0%	0.0%		
			児童	A	88.5%	64.8%	23.6%	6.0%	5.5%		

	評価委員の意見	学校の対応
人間力	<p>○現在、中学生もよく挨拶ができてきている状態である。小学校で育まれたものが受け継がれているものだと思う。</p> <p>○親や教師など大人の背中を見て育つ面もある。低・中学年は高学年から学ぶことも多い。大人の子どもへのかかわり方、高学年の低学年への接し方について、振り返りながら、自分にできる小さな実行目標（1日10回はありがとうを言うなど）も決めて生活していきたいものだ。</p> <p>○挨拶に関しては学校はもちろん、家庭内での環境が大きいと思う。</p> <p>○思いやりのある子が多い。人を助けてあげたい気持ちが表れている場面をよく見る。</p> <p>○保育園でも「自分や友達も大切に思える子ども」に育てられるよう日々のいろいろな活動や場面を大切にかかわっていききたい。</p>	<p>○挨拶については個人差はあるもののおおむね良好な状態である。引き続き指導を続けていきたい。また、機会ごとに家庭への啓発も続けていきたい。</p> <p>○教職員が児童のよいモデルとなれるように、日々、人権感覚を磨き自身の言動を大切にしていきたい。</p> <p>○高学年が低学年に対して、優しく思いやりを持って接している姿が見られる。近永小学校のよい伝統となるよう賞賛して大切にしていきたい。</p>
活力	<p>○何事も目的と目標を明確にして取り組むことが大切だと思う。今回の運動会の取組は、短期間で大変よい取組ができたと思う。</p> <p>○運動会が1学期の開催となり1年生にとっては、入学後1か月ちょっとでの経験ではあったが、それぞれが頑張っており取り組んでいる姿が見られ短時間ですごいなどと感動した。</p> <p>○運動会を1学期に移行したことのプラス面とマイナス面を評価するとどうだったのか。1年生や5・6年生の負担はどうだったのか。検証する必要がある。</p> <p>○心身の健康・活力ある生活の源は「食」だと思う。朝食は家族と一緒に毎日食べているのだろうか。夕食は塾や習い事等で孤食になったり、不規則になったり、簡単なものになったりしていないか気になる。B評価が少しでもA評価になるよう期待したい。</p> <p>○外遊びをする児童をあまり見かけないのは、時代背景が大きく影響していると思う。家庭環境も含み、時代に合った活動ができていればよいのではないか。</p> <p>○水泳・陸上の課外体育について、一旦、全員参加でもよいのではないか。</p> <p>○今年も全国で小中学生の水の事故が報道されている。児童は自らの命を守るため力（浮く・泳ぐなど）は身に付いているのか少し不安である。</p> <p>○コロナ禍による人間関係をめぐる問題が尾を引いている感がある。教職員の皆さんはそのことを念頭に子どもたちにかかわってくださっておりありがたいと思う。</p> <p>○先生方の適時適切な御指導や御支援、家庭の協力等で、一人一人の悩みや課題が徐々に解決に向かっていくように思う。今後もしんどい子どもに寄り添いながら、前を向いて生きていこうとする力を育ててほしい。</p> <p>○学校に来づらかった児童が学校に来られるようになったことはうれしいことである。</p> <p>○不登校の問題は心の痛み問題であるが、学校に行けない本人が一番苦しんでいることだけは忘れないでほしい。</p>	<p>○今年度より運動会を1学期に移行した。保護者、児童等にはおおむね好評であった。しかし、1年生や5・6年生に負担をかけたのも事実である。運動会の種目や内容等はもちろん、年間行事等も見直し、大洲青少年交流の家利用活動や修学旅行の実施時期等も検討していきたい。</p> <p>○心身の健康・活力の源は「食」にあるという御意見をいただいた。学校では給食指導が中心となるが「食」の大切さについて、児童・教職員で共有していきたい。また、学校保健委員会、PTA活動等を通して啓発していきたい。</p> <p>○児童の体力向上に向けた取組を継続し、課外体育への参加をさらに呼びかけていきたい。また、練習内容等も見直し、児童が参加して楽しかった、よかったと思える活動にしていきたいように工夫したい。さらに、水泳学習については「命を守る学習」であることを再確認し発達段階に応じた水中安全指導を取り入れていく。</p> <p>○児童の健全育成にかかわる御意見もたくさんいただいた。委員の皆様の意見を基に今後とも、児童の自己有用感を少しでも高められるような取組を継続していきたい。特に、苦しんでいる児童や保護者の支えになるようにしっかり寄り添った指導・支援ができるように努めていきたい。</p>

<p>学力</p>	<p>○学力向上は、地道で時間のかかる取組だと思う。学級の雰囲気や友人関係、家庭環境等も影響してくる。日々の丁寧な指導・支援が大事だと思うので尽力してほしい。親や地域住民も子どもたちが一つでも分かることやできることが増えていくことを期待している。</p> <p>○苦手な教科をなくすことが大事だと思う。理解できなくて嫌になる前に手をつつこと、補充学習はとても良いことだと思う。</p> <p>○「聞く態度」について、児童は「A」で聞こうとしているのに、その気持ちが先生には伝わってこないのだろうか。話し方の工夫が必要だと思う。</p> <p>○話す・聞く態度、ゲーム時間の超過等の問題は、親と子ども自身のコミュニケーションやしつけと関わってくるので、各家庭でそれぞれに引き合っていく必要がある。</p> <p>○集団への指導と個への指導の比重をどうするのか考えてほしい。自分の意見を持っているが発言できない子、どこをとらえて自分の意見や感想を考えればいいのか分からない子もいる。それぞれに対する丁寧な支援が必要だと考える。</p> <p>○自分の意見の発表は、自分の考動の自信と裏返し、自分を見つける事が先なのではないか。</p> <p>○「忘れ物」は習慣性的問題「いつチェックするか」家庭で決めてもらうことが大切である。</p> <p>○ゲームの時間については、児童・保護者双方へのアプローチが必要だと思う。</p> <p>○幼少からYouTubeを観たりゲームをしたりしている子が多いように思う。小さいころから保護者と子どもの間で時間を決めるなど、約束をしっかりと話し合っ決めていくことも大切だと思う。</p> <p>○個々の能力に合わせた工夫をしてもらっているのが嬉しい。</p> <p>○読書ビンゴの取組が面白い。読書の輪が広がっている家庭もあるようなので素晴らしいと思う。校内の読書環境の整備にも力を入れておられ、子どもの興味を育てていく工夫は保育現場にとっても参考になる。</p>	<p>○いただいたたくさんの御意見をもとに、これまでの実践に自信を持ちつつ、さらに改善を図って学力向上に努めていく。特に、後期からは、中学年以上でタブレット端末を家庭に持ち帰り学習を進めるように計画している。よりよい家庭学習の在り方について研修を深めていこうと考えている。</p> <p>○コミュニケーション能力の育成に向け、それぞれの授業の中で対話の時間を意図的に取り入れるようにしている。さらに、対話の質を高められるように、研修を深めていきたい。そのことで、自分の意見に自信を持ち、しっかりと発表できる児童を育成していきたい。</p> <p>○よりよい生活習慣を身に付けさせるために、引き続き家庭と協力して指導していく。全体指導を通して、PTAで作成した「スマホの約束」の内容を浸透させることを目指したい。また、個々の児童に目を向けそれぞれの課題に根気強く向き合っ改善を促していきたい。</p> <p>○読書習慣の定着に向けても、根気強く取り組んでいきたい。特に1学期に実施した「本屋に行こうプロジェクト」で購入した図書を活用し、さらに読書環境を充実させていく予定である。</p>
<p>その他</p>	<p>○少子化で児童数も減少している中、小学校の統合も考えられているのか。</p> <p>○登校時に比べると下校時は少し乱れている。(当たり前だけど)</p> <p>○中学生の行動で気になることがあれば、連絡をしていただくとありがたい。先日は赤旗を設置していただき、ありがたかった。</p> <p>○学校のご紙回収のマナーの改善について働きかけをお願いしたい。</p> <p>○カスハラ被害や無理・無茶な要望等を受けた場合は、教育委員会や関係機関と連携して対応してほしい。教職員が傷つくことは児童へのマイナスの影響が大きいので毅然とした対応で教職員や児童を守ってほしい。</p> <p>○学校の様子をホームページで確認している。毎日の活動の様子が分かり楽しみだ。大変だと思うが、これからも続けて投稿してほしい。</p>	<p>○小学校の統合については、教育委員会が令和7年度に検討の話を始めると聞いている。</p> <p>○今後とも、児童・生徒の健全育成に向けて小中学校の連携を大切にしていきたい。</p> <p>○古紙回収による収益はPTAの会計に入っている。地域の方々にも御協力いただき、年間約10万円の収益があり、大変ありがたい。学校でも整理整頓には努めているが、再度整頓して置いていただけるよう工夫していく。</p> <p>○カスハラ対応については御意見をいただいたとおり、何かあった場合には、教育委員会、関係機関と協力して取り組んでいけるようにしたいと考えている。</p> <p>○ホームページには日々の授業や学校行事について掲載している。今後ともタイムリーな投稿を心がける。</p>